

2019年度の事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日)

特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク

1 事業の成果

開設7年目となった「放課後等デイサービス・ハクナマタタ」は、中高生の知的障がい児童を対象に、「心と体の成長と生活力向上に向けた食育カリキュラム」「季節や行事を取り入れたアートカリキュラム」「達成感が味わえる運動カリキュラム」「外部講師によるダンス・茶道などの文化活動」を通じて障がい児の楽しく豊かで安心してできる芸術的居場所となっている。利用契約者34名在籍、1日の利用定員である10名に対し平均8～9名の利用があり予約数は安定している。利用者2名に対し職員1名が支援を行えるように体制を整え、従業員一同の精勤もあり大きな事故や怪我もなく順調な運営をしている。2月には第4回ハクナマタタ周年祭「さんさんフェスティバル」を開催し在校生・卒業生・保護者など60名の参加があり、日々の活動の様子やスタッフと子どもとの関わりを直に保護者にご覧いただく良い機会となった。2月末より新型コロナウイルスによる休校が発生。利用人数の縮小と消毒・検温・活動や食事体制を一部変更し、衛生面に十分配慮しながら運営を継続した。

開設5年目となった「スペースにわにわ」は、舞台芸術制作部門の稽古場・作業場兼交流の場となり活発に活用されている。また会員以外でも利用できるレンタルスペースは、サークル活動・各教室開催・会議打ち合わせなど幅広く利用され毎月の利用状況も安定している。しかし2月末より新型コロナウイルス感染防止のため自主的閉鎖をし、活動を中止した。

チャレンジド・ミュージカル第12回公演は、好評だったチャレンジド歌舞伎の第2弾となる「七人の八百屋お七」を公演。参加者・サポーター・関係者が一丸となり、素晴らしい活動の場となった。市川市・千葉市での2か所での公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、千葉市公演と当日開催イベントを中止とした。

「劇団JAMBO!」「いちミュージック」「コントdeげき隊!」「いちぶん日舞教室」「いるんおるん」「ママパパチャレゆるcafe」も順調に継続していたが、新型コロナウイルスの影響で2月以降は活動を中止した。「子ども茶道教室・日舞教室」も順調に継続、日本文化に関心を持ってもらえる場となっている。

8月30日より千葉県補助事業、千葉県障害者芸術文化活動支援センター「HONGERA!」を設立し、業務を遂行。障がい者と社会をつなぐ架け橋となった。2月末からは新型コロナウイルスの影響で残念ながら活動がすべて中止となった。

協働・支援・ネットワーク事業も順調に支援していたが、2月以降は活動の中断を余儀なくされた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①児童福祉法に基づく放課後等児童デイサービス事業						
「放課後等デイサービス・ハクナマタタ」事業	障がい児（中高生対象）の放課後の学びといちぶんネットならではのカリキュラムを用いた芸術文化活動を楽しむ場を確保する。	通年 毎週月～金 (除く祭日)	法人事務所	9名(常勤者3名+パート6名)	障がいを持つ中高生(各日平均10名利用)通算2400名	22,343
②市民による文化芸術に関する活動、普及および支援						
スペースにわにわの運営	創造、交流、イベント、居場所、カフェ、稽古場等の市民活動の創造と交流拠点の運営	通年 週平均5日	スペースにわにわ	2名	利用者通算1500名	2,464

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
チャレンジド・ミュージカル 第12回公演 チャレンジド歌舞伎第2弾 「七人の八百屋お七」	芸術文化活動を通して、障がいのある人たちの社会参加と社会貢献を促進する。	(市川公演) 2020年2月1日 2020年2月2日 (千葉公演) 2020年2月29日 中止	(市川公演) 市川市文化会館 小ホール (千葉公演) 千葉県文化会館 大ホール 中止	スタッフ サポーター 50名	参加者70名	5,902
チャレンジド・ミュージカル 創造体験活動2019	チャレンジド・ミュージカル表現力を向上させるためのワークショップ。	2019年9月1日 ～2020年1月26日 (計24回)	須和田の丘支援学校 やまぶき園 市内公民館	スタッフ サポーター 20名	参加者 70名	
チャレンジド・ミュージカル 劇団「JAMBO!」公演と出前公演	休日を利用して、首都圏内各地に「日帰り出張公演」を実施。芸術文化活動を通して障がいのある人たちの社会参加と社会貢献を促進する。	通年 年間10回	ちょっぴり公演 県内各地	スタッフ サポーター 20名	劇団員45名	391
いちミュージックキッズ	小さな子どもと家族の芸術活動推進と子育て支援を目的とした舞台芸術表現活動。	◆春 4月6日～5月4日 計7回 ◆夏 7月23日～8月21日 計6回 ◆冬 1月19日～3月29日 計13回 中止	スペースにわにわ 他	各日2名	参加者 平均30名	686
子ども茶道教室	伝統文化を楽しみながら、地域と生活と自己への新しい発見に期待する教室	(茶道) 2019年9月27日 ～11月8日 計6回 (日舞教室との合同発表会) 2019年11月24日	(指導会場) 松藤邸 (発表会場) 市川中央公民館	各日3名 発表会6名	小1～中学生 (茶道) 参加者19名	210
消費者啓発劇団 「コントdelげき隊!」2019	蔓延する消費者詐欺防止を啓発するため、コントを作成し、県内各地の県民講座並びに自治会、イベント、公民館行事などで上演する。新テーマに「高齢者虐待防止」も取り上げる。	通年	県内各地、首都圏など、計28ヶ所にて上演	各日3名	出演者 1回あたりの 出演者 6～8名	55

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
いちぶん日舞教室 子ども日舞教室	日本舞踊の初歩を学ぶ。日本舞踊の基礎講習。	(日舞教室) 毎月2回・火曜 (子ども日舞) 2020年8月18日 ～11月8日 計9回 (茶道教室との 合同発表会) 2019年11月24日	(日舞教室) スペースにわにわ (子ども日舞) 指導：にわにわ 発表：市川中央公 民館	各日2名	(日舞教室) 参加者 各日10名 (子ども日 舞教室) 参加者 各日5名	617
いるんおるん	働く障がい青年のための癒しと交流カフェ	通年 月2回 (第2水曜・第3 金曜)	スペースにわにわ	スタッフ 5～6名	参加者 1日20名	287
ママパパちやれゆるcafé	子育て中の親が、自分のスキルをいかすための交流の場。地域とのつながりをつくる。	通年 月1回 (第1火曜日)	スペースにわにわ	スタッフ 2名	参加者 1日6名	0
障害者芸術文化活動支援事業 「おいでだいじょうぶだ よ！」からだ遊びワーク ショップ	身体表現の楽しさを味わってもらおう初歩的ワークショップ	2020年5月12日 ～9月29日 毎月2回 計10回	須和田の丘支援学校 やまぶき園 市内公民館	スタッフ サポーター 10名	参加者 1日30名	326
千葉県障害者芸術文化活動支援センター「HONGERA!」	県内の障がいのある人たちの芸術文化活動を支援し、生き生きとした人生の実現に寄与する。県内各地に舞台芸術を中心とした体験活動を展開する。	2019年8月30日 ～2020年3月31 日	県内13市町	スタッフ 20名	延べ22回 各30～300名	6,310

③広報および出版物の発行

広報誌「いちぶん通信」の発行(会の活動広報、情報公開)	年3回発行			1名	各100部	30
ホームページの公開・更新(活動情報の提供)	HPの積極利用			2名		0
SNSを使用した広報	Facebookの積極利用			2名		0
NPO法人化15周年記念冊子の出版	実施せず					0

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
④行政、諸団体との協働およびネットワークづくり						
3. 第7回 いちみュー文化祭	市川市内のさまざまな市民文化サークルの活動の交流と創造を支援する 市民文化サークルの祭典・合同発表会	2020年3月29日 中止				0
4. 赤レンガをいかす会 事務局担当	旧千葉県血清研究所跡地にある赤レンガ建築物と施設の有効保存を図る活動を推進する。 啓発広報活動	通年	旧千葉県血清研究所			
5. 市川市民サークル活動支援事業	コーラス水の輪・シニア劇波瀾ばんばん座・劇団ポラーノ・市川邦楽連盟・ダンス集団おやじdeソレイユ・SHIZUKUなど、要請のあった市民サークル活動を様々な形で支援。	通年				
※協働・ネットワーク事業の事業費は、「スペースにわにわの運営費」に含む。					合計	39,621